

『豊かで活力ある安全安心な川路』の実現！ 2022年（令和4年）3月16日

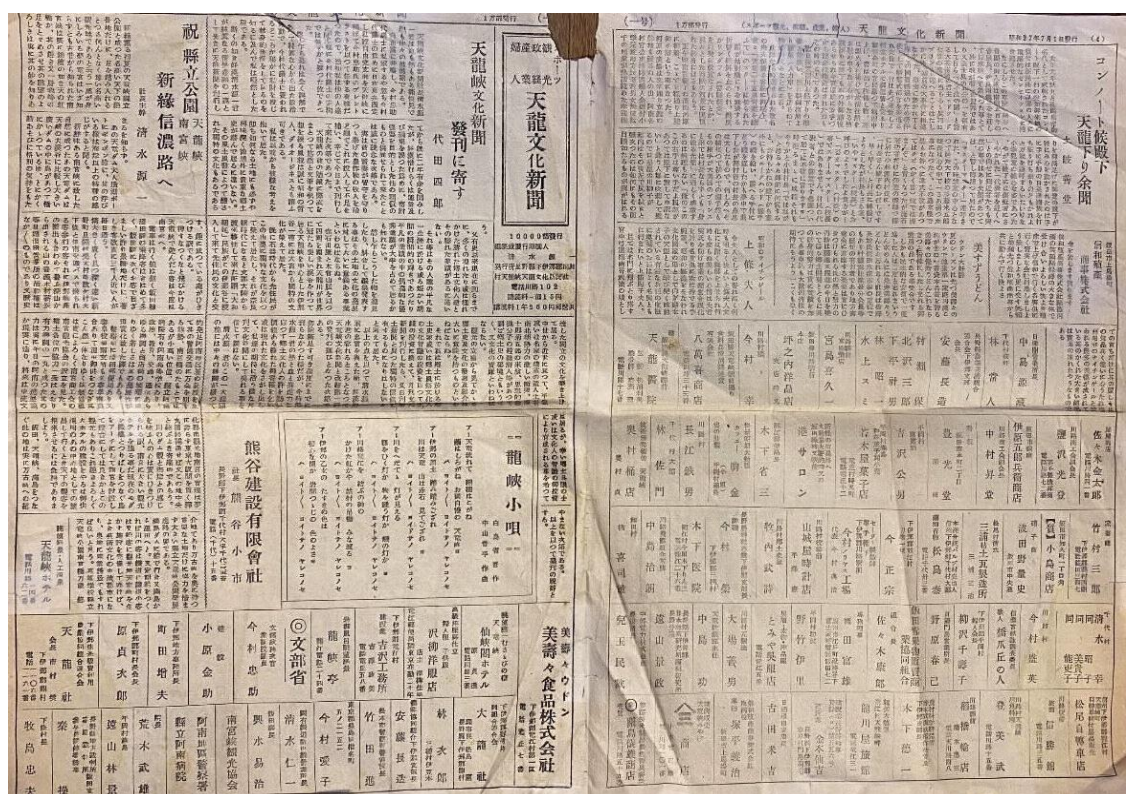
川路七区の今村真直さんは、お父さんの良夫さんの意志を継いで、天龍峡の為に景観の復元活動や天龍峡の情報発信に注力してくれました事はご存知の事と思います。ご遺族からご寄付頂いた天龍峡に関係する貴重な書籍・資料が川路公民館に置いてありましたが、川路図書館の文庫「天龍峡文庫」として登録管理するため、飯田市図書館から資料整理の指導に来て頂きました。天龍峡の歴史に関心の深い沼田永治さんとまちづくりの会長、副会長及び自治振興センターの皆さんで資料を整理しました。

過去の書籍、新聞等に紹介された天龍峡の記事の元資料や写真が沢山ありましたが、その中に大変貴重な新聞を発見しました。「天龍峡文化新聞」第1号です。発行日は昭和27年7月1日。私が生まれる1ヶ月前のことです。発行者は清水源一さん。七区のミニ公園になっている場所に清水古本屋がありましたが、その店主です。千栄の方で、お店だけ天龍峡にありました。60歳以上の方であればご存知の方は多いのではないのでしょうか？市瀬整形外科のお隣に代田医院がありましたが、その代田先生が「発刊に寄す」とお祝いの言葉を書いています。内容はそれほど重要なものはありませんが、ともかく発刊を祝す広告の多さは見事です。当時の天龍峡を取り巻く、多くの名士の名が並んでいます。裏面もありますので、今年の文化祭に展示したいと思います。ご高齢の皆さんにとって大変懐かしいお名前があると思います。周りはボロボロになっており、破れておりましたので、メンディングテープで修復しましたが、こういう資料はテープ等で修復しない方が良いと歴史研究所の方にアドバイスを頂きました。テープの糊が悪さをする場合があるためとのことです。反省大です。

興味深い内容としては、伊那節の作詞者のことが書かれていましたので、簡単にご紹介します。

『伊那節は伊那の「ごんべい峠」を中心とした馬子唄を元歌として、大正5年南信新聞社が広く歌詞を募集して作った歌ですが、一番有名な「天竜下ればしぶきにぬれる・・・」と「桑の中から小唄がもれる・・・」の二つの詩を作詞してくれましたのが、当時下条小学校の校長先生であった小笠原秀雄さんです。小笠原さんは下条村親田のお生まれで、退職後恩給で何一つ不自由な生活が待って

いたというのに、大正の始め日本民族の海外雄飛熱が盛んになると、校長職を辞して家族そろってブラジルに移住されたとのことです。残念ながら数年して現地で客死されたとのことです。』今村真直さんの貴重な資料、今年の文化祭をお楽しみに！



今村真直さんご遺族から寄贈された資料の中にあつた「天龍峡文化新聞第1号」



## 天龍峡龍神が川路からお練り祭りに出演します

飯田お練り祭りの開催が心配されておりましたが、正式に実施することが決定されました。川路地区からは3月26日天龍峡龍神の舞が1日参加し、勇壮な舞を披露します。七区以外の若者の参加も多く、伊賀良、駒ヶ根からの参加もあります。総勢70名の参加ですが、連日七区龍峡会館で猛訓練をしております。龍は吉祥をもたらすとされており、コロナ脱出を祈って飯田市街地を駆け巡ります。9時半に飯田駅前を出発し、中央通り、銀座と廻り、11時頃常盤町の本部で演舞して昼食、午後知久町、大通り、本町、松尾町、伝馬町、吾妻町と巡回し、桜町に4時半到着の予定です。是非お出かけ頂き、天龍峡龍神の舞を応援してあげてください。



飯田お練り祭り公式パンフレットより

## ふるさと納税にご協力頂いた方へお礼をお送りしました



「ふるさと納税川路地区応援隊」は本年度13人の方から暖かいご支援を頂きました。中には二区ご出身の一ノ瀬祐二さんの様に本年度3回、通算6回ご支援頂いた方もおられます。一ノ瀬さんからは「希望ある川路づくりをお願い致します。」とお言葉を添えて頂きました。ご支援頂きました皆様に、まちづくりからお礼状とささやかですが地元産のドレッシングをお送りしました。お礼状には該当区の役員の皆様にお礼の一言を書いて頂き、更にまちづくりの女性代表の皆さんに一言添えて頂きました。貴重なお志を有効に使わせて頂きます。



女性委員の皆さんによるお礼状作成と品物発送作業

## かわらんべ河川敷菜の花畑の写真を寄贈して頂きました



川路七区の北沢章博さんより、一昨年撮影した「菜の花畑の写真」を寄贈して頂きました。川路公民館大会議室に掲示させて頂きました。龍江側から撮影した写真ですが、黄色い菜の花が一面に咲いている姿が良く判ります。昨年は大水で菜の花畑が70cmもの厚さの土砂で埋まってしまいましたが、川路菜の花愛護会、天龍峡アヴニール倶楽部、シニア大学41期生、竜峡中学の生徒の皆さんのご協力で種まきをし、なんとか菜の花が育ち始めております。砂地のため少し心配ですが、4月の中頃には綺麗に咲き誇ってくれることをただただ祈っております。

